

子育て支援事業

子ども・子育て総合センターあいつくと子育て支援センターちよだいを拠点として、地域とのつながりを大事にしながら、子育て・子育てしやすい仕組みを整え、市内外に向けて「子育てのまち かわちながの」を発信した。

地域や事業者と連携を図り、様々なプログラムを提供し、きめ細やかな寄り添う支援を通して虐待を未然に防ぐなど、安全・安心を保障し、家庭の教育力を高める取り組みを目的として事業を行った。

また、配慮の必要な親子に対して「子育て」できる環境を整えるため、就園（学）先と確かな情報共有を行い、地域の社会資源とつながる「親育ち」を促進し、「家庭の力」を付けていくために継続した支援を実施した。

1. ファミリー・サポート・センター事業

地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、子育てと仕事や介護などの両立ができる環境を整備する相互援助活動を行った。また、各会員の資質向上の為、子どもの発達・発育等に関する講習会や普通救命講習等を開催した。

会員数	
提供会員	334人
依頼会員	161人
両方会員	49人
合計	544人

援助内容の内訳	件数
保育所・幼稚園の登園前・後の預かり	232
保育所・幼稚園の送り・迎え	409
子どもの習い事等の場合の援助	94
保育所・学校等休みの時の援助	78
学校の放課後の預かり	56
放課後児童会の迎え	38
放課後児童会終了後の預かり	34
その他	51
合計	992

2. 家庭児童相談室事業

18歳未満の子どもとその家庭を対象に、子どもの発達、性格、家族関係の不安や心配ごと等について、心理相談員が面接相談やプレイセラピー、家庭訪問及び電話相談で対応するとともに、必要に応じて学校等の関係機関とケース会議や電話による情報共有を実施した。

相談種別 回数	児童虐待	養護相談	発達・障害相談					非行相談	育成相談		合計
			言語発達障害	重度心身障害	知的障害	スペクトラム障害等 自閉症	性格行動		不登校		
ケース数	144	0	19	0	7	39	3	25	12	249	
面接相談	1,562	0	127	7	19	325	16	122	195	2,373	
電話相談	1,979	1	91	4	12	265	16	94	109	2,571	
合計	3,541	1	218	11	31	590	32	216	304	4,944	

また、発達に課題のある小・中学生を対象に、対人・社会性を促進する目的でグループ活動を実施した。（中学生グループ9回、小・中学生合同グループ3回）

3. 地域子育て支援拠点事業

わくわく広場

多くの子育て家庭が気軽に利用できるわくわく広場で、専門のスタッフが寄り添う支援を実施することにより、各家庭によって異なるニーズに対応し、子どもの発達段階や年齢に応じた相談を気軽にできる場を提供した。

(わくわく広場)

開放日数	延べ利用家庭数	延べ利用者数
309日	21,050家庭	51,858人

子育て情報の発信

子育て情報サイト「キラキラねっと」から様々な子育て情報を発信し、子どもとともに成長するための学びを支援する育児講座を本施設の保育士やボランティアを講師として開催した。

育児講座 開催回数	参加者数	
	大人	子ども
87回	813人	822人

一時預り事業

本センター内の一室で6ヶ月～就学前の子どもを対象に、一時的に子どもを預けることでリフレッシュしたり、短時間の用事を済ませることにより保護者の育児負担の軽減に寄与する乳幼児一時預かり事業を実施した。

年間利用者数	1,024人
新規登録者数	204人

子育て支援センターちよだだい

子育て支援センターちよだだいでは、乳児家庭全戸訪問「こんにちは赤ちゃん事業」や子育てはがき通信の発送、子育てサークルへの支援（貸室や運営の相談など）、市内各地域へ出向き、親子が友人をつくる場や機会を設けるイベントの開催等、様々な支援事業を行った。

(こんにちは赤ちゃん事業)

訪問担当者	保健師・助産師	主任児童委員・保育士	合計
訪問家庭数	562戸	21戸	583戸
訪問延べ回数	535回	30回	565回

4. 幼児健全発達支援事業

「いち・に・の ジャンプ!」教室

1歳7か月児健康診査などにおいて、要経過観察とされた幼児とその保護者、また何らかの障がいにより経過観察を必要とする幼児とその保護者に対して、集団指導を行うことにより、幼児の健全な発達を促し保護者の不安解消を図った。教室は、保育士・心理相談員・保健師をスタッフとして、子ども・子育て総合センターあいつくで週5日、乳幼児健診センター（フォレスト三日市）で週2日実施した。卒室時には、就園先への申し送りを実施し、教室のOB会やサークルにおいて、就園後の集団適応状況等についての相談や“はーと”の記入支援を実施した。

(幼児健全発達支援事業実施状況)

	実施日数	実児童数	延児童数
経過観察教室	41日	63人	273人
健全発達支援教室	98日	59人	656人
療育教室	80日	38人	396人
合計	219日	160人	1,325人

※実児童数合計は各教室間の重複あり

サポートブックはーとの会

未就学児の保護者と支援者が一緒に、“はーと”の活用等について学ぶ「サポートブックはーとの会」を2回実施し、24家庭の参加があった。

相談業務

電話相談や来室相談は、207件で、必要に応じて担当者が保育所や幼稚園、認定こども園に出向き、児の行動観察を実施し、児の発達支援と共に保護者への支援の方向性を先生方と検討、助言を行った（園訪問相談支援）。また、年長児については、就学相談（教育支援委員会）を紹介する等、支援が就学後も継続していくよう連携を図った。

就園支援等

しょうとく園入園面接は、対象が8ケースあり、6市町村の入園調整会議で5名の入園が決定した。その他、障害児保育審査会の委員として、行動観察を実施し審査会で該当児の処遇決定を行った。